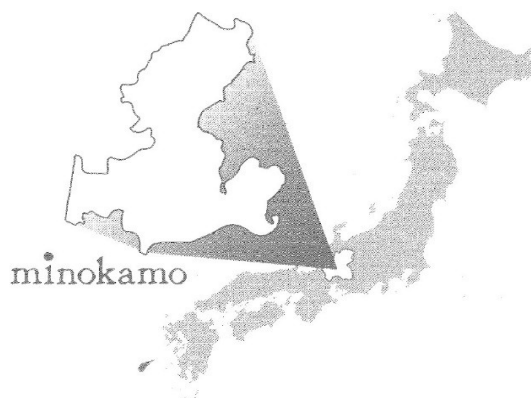


統計からみた美濃加茂市の姿

(ポケット統計)



○市章



美濃加茂市の「か」の字を図案化したもので、古来より中部経済圏交通の要衝であり、また日本ライン発祥の地であることにちなみ、中央位斜曲線により、日本ラインの流れを力強く優美に象徴したものである。

○市制施行 昭和29年4月1日

○総面積 74.81km² (令和6年度固定資産税概要調書)

○位置 (市役所) 東経137°00' 56" 北緯35°26' 25"

○広がり 東西11.6km 南北13.8km

極東	東経 137°05' 12"	(下米田町信友)
極西	東経 136°57' 32"	(加茂野町稲辺)
極南	北緯 35°25' 48"	(深田町2丁目)
極北	北緯 35°33' 14"	(三和町廿屋)

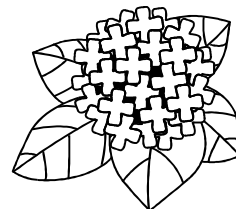
○海拔 最高地 559.2m (御殿山山頂) 最低地 59.1m (草笛町4丁目)

○市の色 水の青 コバルトブルー

ラインの清流を象徴し、母なる木曽川の水と調和し、青年都市としての若さとさわやかさを表す色。これをラインブルーと名付ける。

○市の花 あじさい(ゆきのした科)

○市の木 むく(にれ科)



お問い合わせ・照会

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町3431番地1

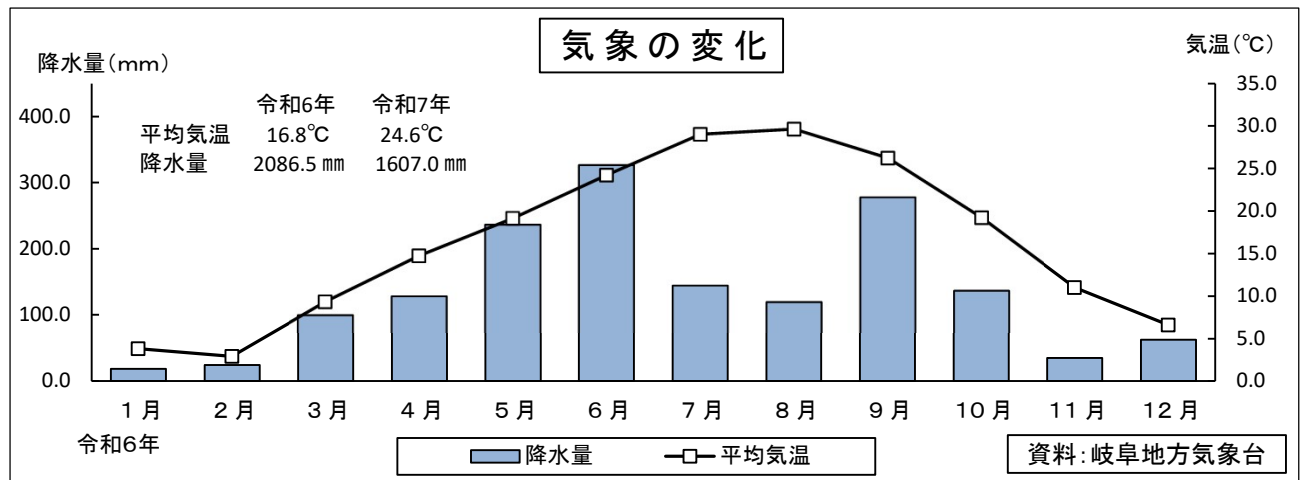
美濃加茂市経営企画部企画課 TEL 0574-25-2111

ホームページ <https://www.city.minokamo.lg.jp>

目 次

気 象		1
土地利用		
住 居		
人口動態		2
産業構造		4
医療・保険		6
衛 生		
社会福祉		
教 育		7
防 災		
交 通		8
文化・観光等		10
インフラ		
行政経営の状況		11
市民憲章		12
都市宣言		
10大ニュース		13

気 象

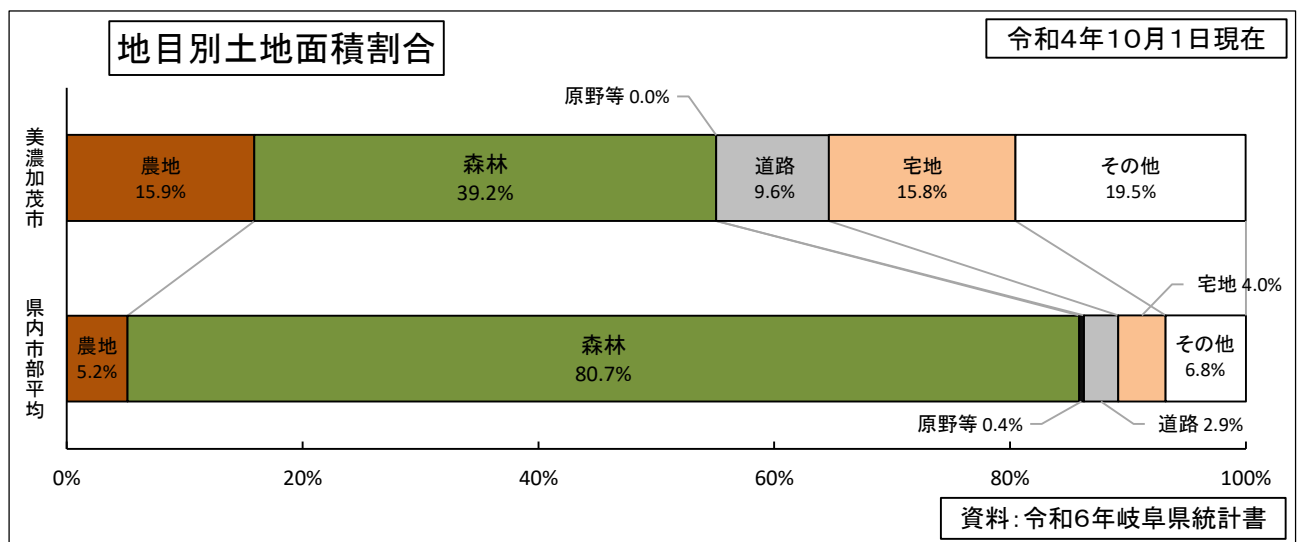


最高気温 …… 39.0℃

最低気温 …… -5.2℃

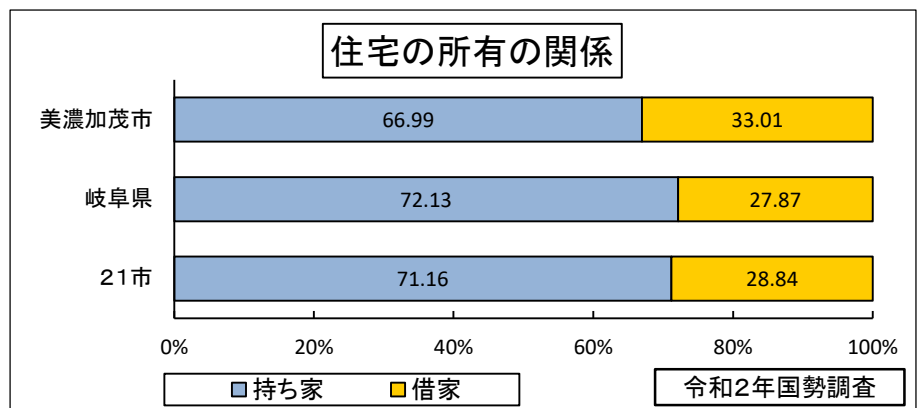
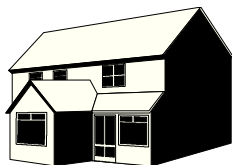
(令和7年)

土地利用

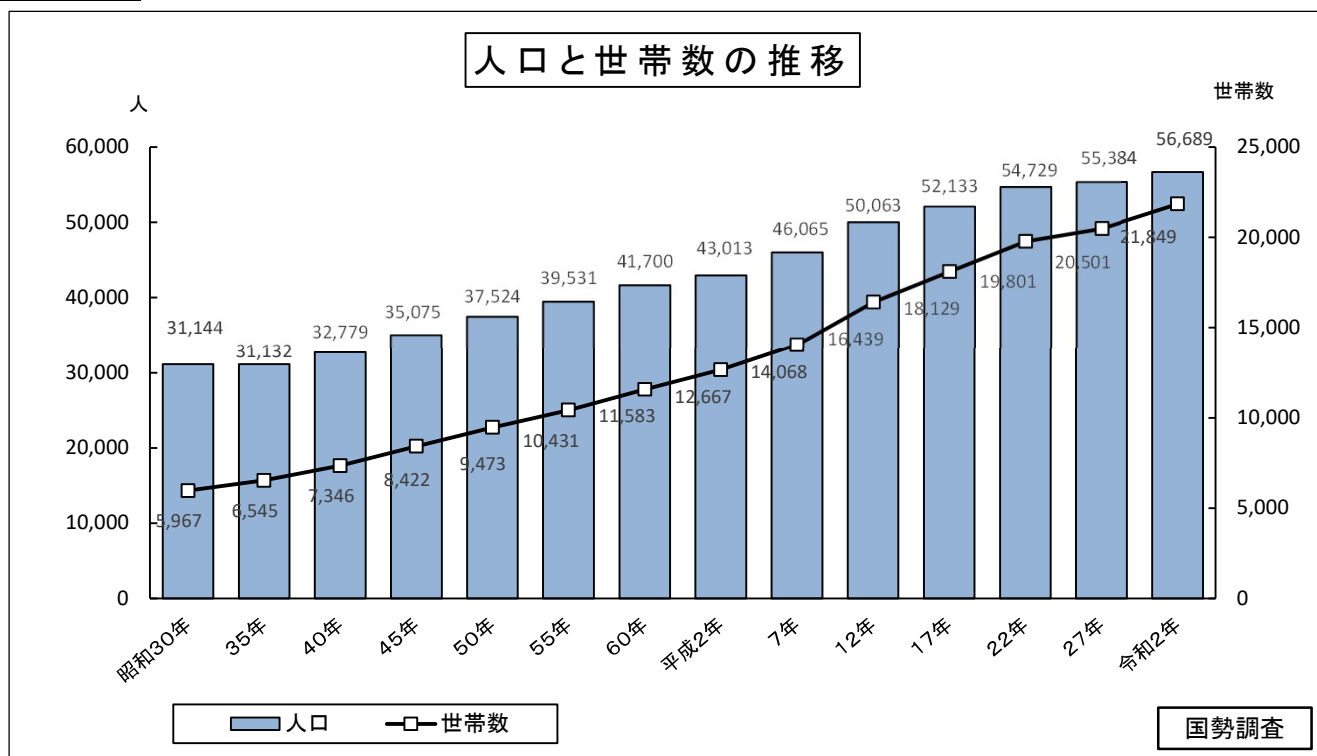


県内市部の平均と比べ、農地、道路、宅地面積の割合は大きく、森林面積の割合は小さくなっています。

住 居



人口動態



(各年10月1日現在)

区 分	人 口 (人)			世帯数
	総 計	男	女	
昭 和 3 0 年	31,144	15,383	15,761	5,967
3 5	31,132	15,331	15,801	6,545
4 0	32,779	16,125	16,654	7,346
4 5	35,075	17,331	17,744	8,422
5 0	37,524	18,524	19,000	9,473
5 5	39,531	19,614	19,917	10,431
6 0	41,700	20,703	20,997	11,583
平 成 2 年	43,013	21,308	21,705	12,667
7	46,065	22,889	23,176	14,068
1 2	50,063	24,772	25,291	16,439
1 7	52,133	25,924	26,209	18,129
2 2	54,729	27,037	27,692	19,801
2 7	55,384	27,362	28,022	20,501
令 和 2 年	56,689	28,141	28,548	21,880

*総計は、年齢「不詳」を含む。

美濃加茂市の人口は56,689人となり、平成27年から1,305人(2.36%)増加している。
 全国1,719市町村中1,419市町村(82.5%)で人口減少する中、美濃加茂市の人口は増加となっているものの、以前に比べゆるやかな増加となっている。

○地区別人口

地区	人口(人)
太田	11,893
古井	16,918
山之上	2,242
蜂屋	7,965
加茂野	10,334
伊深	1,032
三和	448
下米田	5,857
総計	56,689

(令和2年国勢調査)

*森山町6丁目(森山台)は山之上地区、
 野地原(山之上町・蜂屋町)は伊深地区で集計。

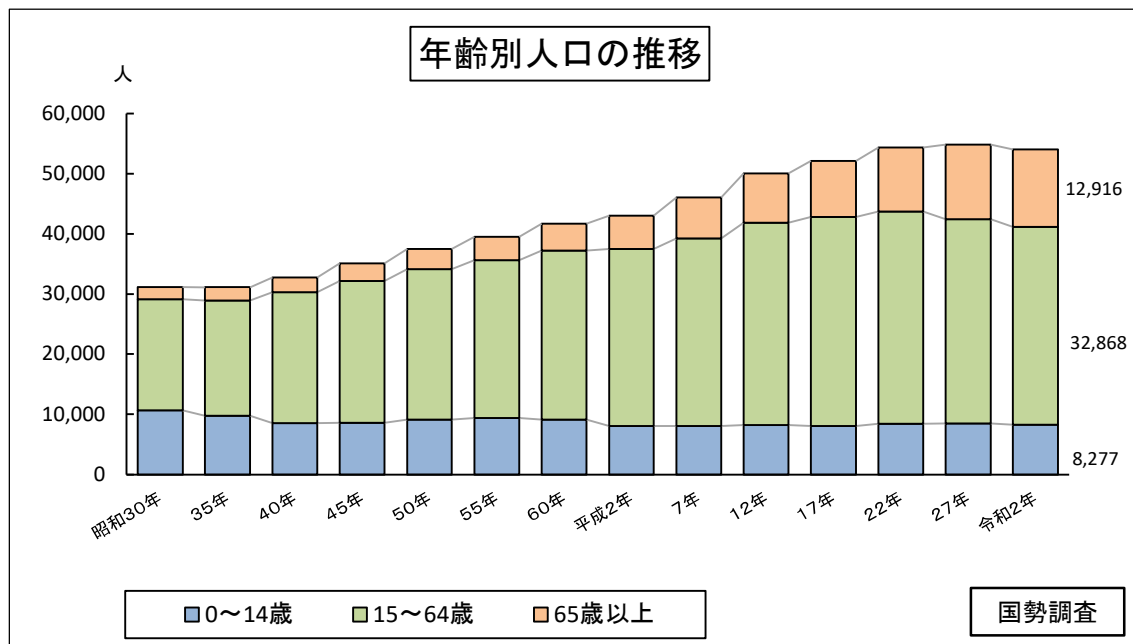
○昼夜間人口比率

市名	比率(%)
岐阜市	102.2
大垣市	103.5
高山市	101.1
多治見市	90.7
関市	102.3
中津川市	98.6
美濃市	105.1
瑞浪市	94.3
羽島市	87.4
恵那市	98.3

*夜間人口を100とする。

美濃加茂市	97.7
土岐市	96.1
各務原市	94.5
可児市	96.3
山県市	87.6
瑞穂市	81.9
飛騨市	96.9
本巣市	100.4
郡上市	98.2
下呂市	99.6
海津市	88.9

(令和2年国勢調査)



昭和30年には6.5%だった高齢者の人口割合は令和2年には23.9%まで増加し、逆に若年人口の割合は34.2%から15.3%まで減少し、少子・高齢化を顕著に表しています。平成27年と比較すると、高齢者の割合は1.4%増加し、若年者の割合はほとんど変化していません。

○年齢別人口・割合 (令和2年国勢調査)

年少人口（0歳～14歳）…………… 8,277人（15.3%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）…………… 32,868人（60.8%）
 老年人口（65歳以上）…………… 12,916人（23.9%）
 平均年齢…………… 44.4歳
 ＊年齢別割合は、年齢「不詳」を除いて算出。

○世帯構成 (令和2年国勢調査)

核家族世帯…………… 12,667世帯（59.2%）
 その他の親族世帯…………… 2,194世帯（10.3%）
 非親族世帯…………… 195世帯（0.9%）
 単独世帯…………… 6,331世帯（29.6%）
 ＊世帯構成は一般世帯数。割合は、世帯の家族類型「不詳」を除いて算出。

○労働力人口 (令和2年国勢調査)

（ ）内の数字はうち女性就業者の割合
 総数…………… 28,236人（45.0%）
 第1次産業〈2.6%〉…………… 719人
 第2次産業〈40.2%〉…………… 11,232人
 第3次産業〈57.2%〉…………… 15,963人

○登録人口(人)・世帯 (令和8年3月1日現在)

国 籍	男	女	計	世帯
日本人	25,241	25,860	51,101 (88.8%)	21,626
外国人	3,404	3,067	6,471 (11.2%)	3,187
計	28,654	28,927	57,572	24,813

○外国人登録者数(人) (令和8年3月1日現在)

国 籍	男	女	計
フィリピン	1,236	1,473	2,709 (41.9%)
ブラジル	1,140	994	2,134 (33.0%)
ベトナム	425	163	588 (9.1%)
中 国	90	116	206 (3.2%)
韓国・朝鮮	30	36	66 (1.0%)
パルー	32	32	64 (1.0%)
その他	451	253	704 (10.9%)
計	3,404	3,067	6,471

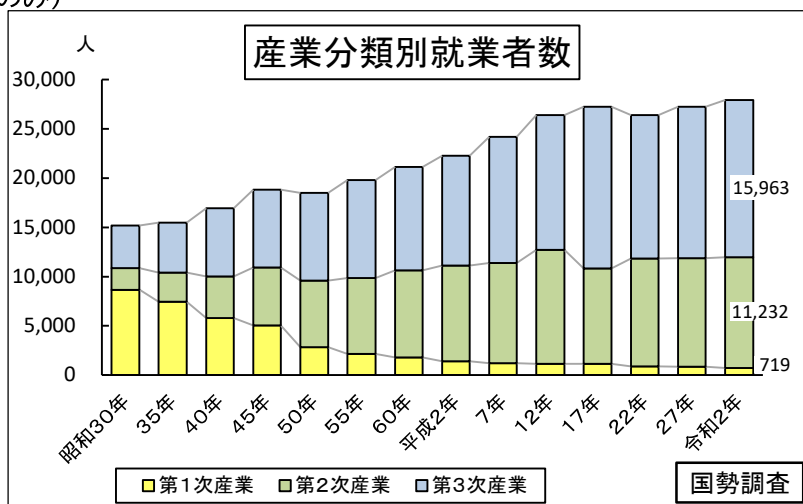
○選挙人名簿登録者数…………… 42,517人 (令和7年9月現在)

産業構造

○産業分類別市内事業所数・従業者数(民営事業所のみ)

産業区分	事業所数	従業者数	1事業所当たり従業者数
農林漁業	16	119	7.4
鉱業、採石業、砂利採取業	1	6	6.0
建設業	238	1,480	6.2
製造業	279	6,984	25.0
電気・ガス・熱供給・水道業	7	299	42.7
情報通信業	14	40	2.9
運輸業、郵便業	60	1,391	23.2
卸売業、小売業	534	4,138	7.7
金融業、保険業	38	352	9.3
不動産業、物品賃貸業	126	356	2.8
学術研究、専門・技術サービス業	88	439	5.0
宿泊業、飲食サービス業	294	2,153	7.3
生活関連サービス業、娯楽業	196	958	4.9
教育、学習支援業	91	599	6.6
医療、福祉	197	4,456	22.6
複合サービス事業	14	272	19.4
サービス業(他に分類されないもの)	151	1,550	10.3
合 計	2,344	25,592	10.9

(令和3年経済センサスー活動調査)



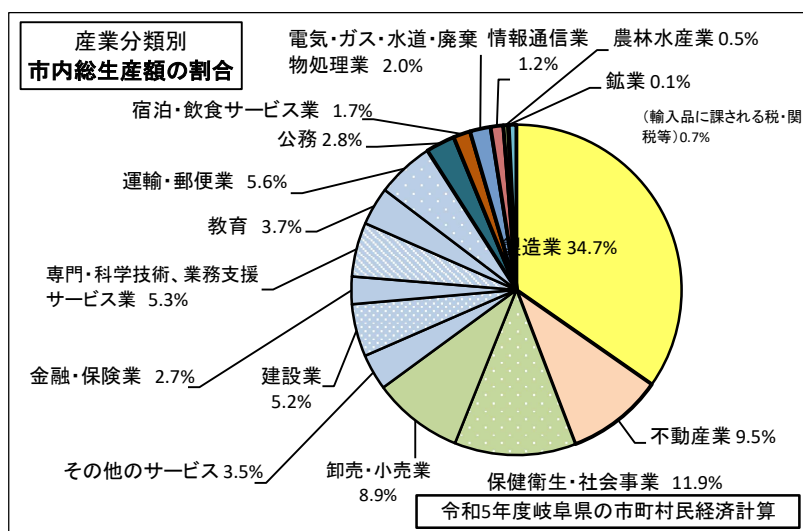
各産業別就業者の割合は、第1次産業2.6%、第2次産業40.2%、第3次産業57.2%です。
対平成27年の増減率は、第1次産業-0.5%、第2次産業-0.2%、第3次産業+0.7%です。

○市民所得と市内総生産

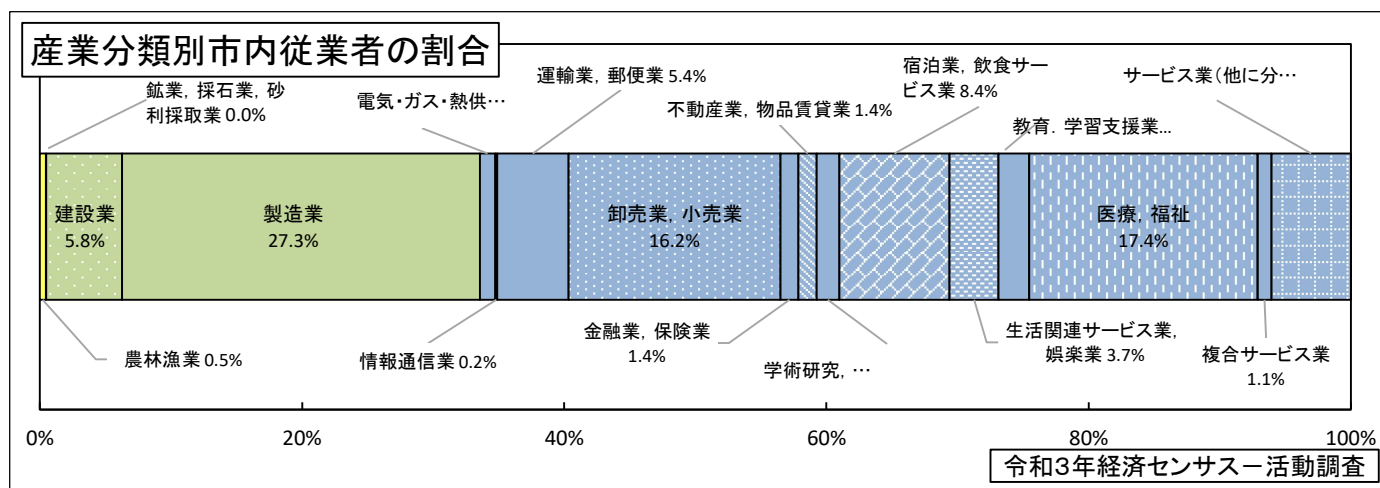
〇市民所得と市 内総生産 (千円)	人口1人当たり 市民所得	就業者1人当たり 市内総生産
美濃加茂市	3,120	8,411
岐阜県	3,264	8,360
21市	3,273	8,300

(令和5年度岐阜県の市町村民経済計算)

1人当たり市民所得とは住民個人の給与水準を表すものではなく、企業の利潤などをも含んだ経済全体の所得水準を表します。



市内の総生産額(2,490億円)を産業別に見ると製造業の割合が最も高くなっています。



産業分類別の従業者数割合を示したものです。製造業、医療、福祉、卸売業、小売業に就いている人が多いことがわかります。

○工業(従業者数4人以上の事業所)

事業所数	139
従業者数(人)	6,789
製造品出荷額等(百万円)	223,447

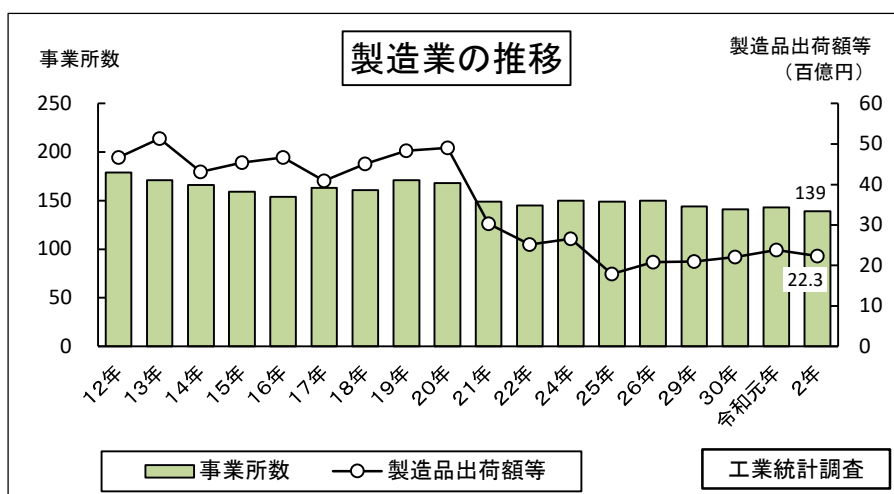
○従業者1人当たりの製造品出荷額等(万円)

美濃加茂市	3,291
岐阜県	2,906
21市	2,902

○製造品分類別出荷額割合(%)

食料品	10.9
繊維工業	0.2
家具・装備品	0.5
印刷・同関連業	0.1
化学工業	3.7
プラスチック製品	1.5
ゴム製品	0.9
窯業・土石製品	1.5
鉄鋼業	13.5
金属製品	9.3
はん用機械器具製造業	0.0
生産用機械器具	41.4
業務用機械器具	0.1
電気機械器具	3.9
輸送用機械器具	3.5
その他の製造業	0.1

*秘匿項目があるため、
総計は100%と一致しない。



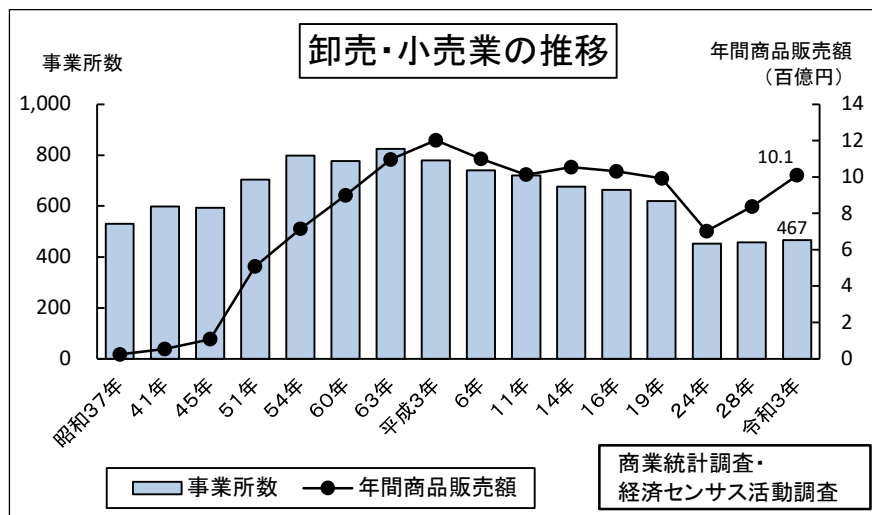
令和2年調査の製造品出荷額は、県内21市中で各務原市、大垣市、可児市、中津川市、関市、岐阜市に次いで第7位となっています。
(令和2年工業統計)

○商業

	卸売業	小売業
事業所数	93	374
従業者数(人)	569	3,020
総年間商品販売額(百万円)	44,173	56,720

(令和3年経済センサス活動調査)

※管理、補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の事業所、卸売の商品販売額(仲立手数料を除く)、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い事業所は含まない。



年間商品販売額は平成3年の1,202億円を頂点に、また商店数も昭和63年の825店を最高に下降傾向にありましたが、平成28年より増加となっています。

○農林業

総販売農家数(戸)	540
農家経営耕地面積(a)	55,617
田	37,372
畑	9,723
樹園地	8,522
林野面積(ha)	2,946

(令和2年農林業センサス)

(令和5年岐阜県森林・林業統計書)

医療・保険

○医療施設 (令和4年10月現在)

病 院	4
一般診療所	68
歯科診療所	38
病床数(床)	506

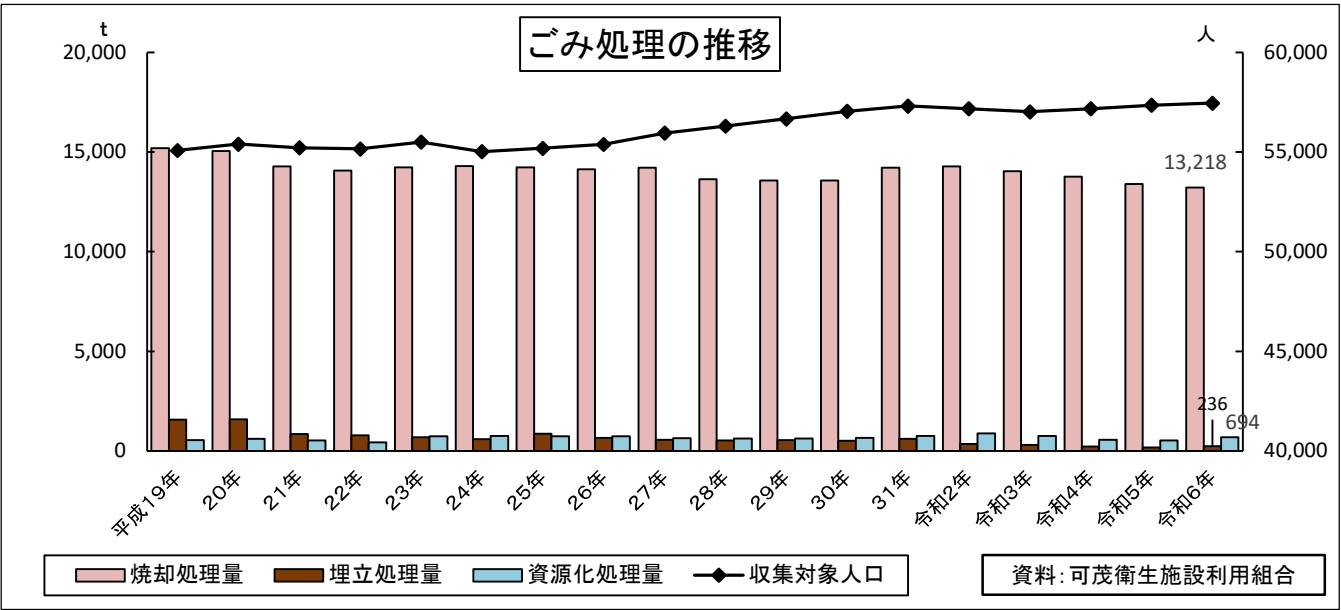
○国民健康保険の状況 (令和6年度)

国民健康保険被保険者世帯数(世帯)	5,669
-------------------	-------

衛 生

○ごみの排出量(トン) (令和6年度)

可燃ごみ(生活系・事業系)	12,850
粗大ごみ(可燃・不燃)	312
資源ごみ(缶・ビン)	133
資源(PET・トレイ・発泡スチロール)	12
≪集団資源回収≫	
新聞紙	60
雑誌類	69
ダンボール	38
古着・布切れ	0
アルミ缶	5



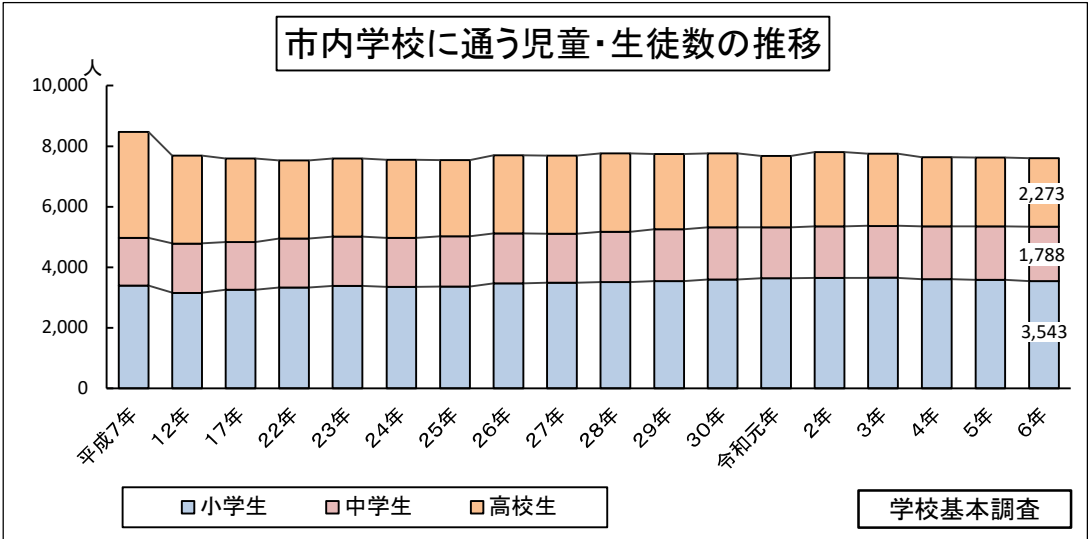
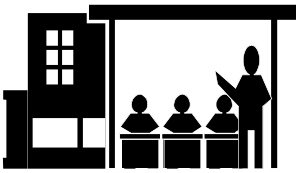
ごみの焼却処理量は、昨年より177トン減少しました。

社会福祉

○身体障がい者手帳所持者数 1,524人 (令和6年度)
○国民年金受給権者 13,419人
○総合福祉会館利用者数 84,905人
うち一般来館者数 32,691人

○保育施設数 (令和7年度)
公立保育園 6園
公立認定こども園 1園
私立保育園 5園
私立認定こども園 3園
地域型保育事業所 4事業所

教 育



○学校等の状況

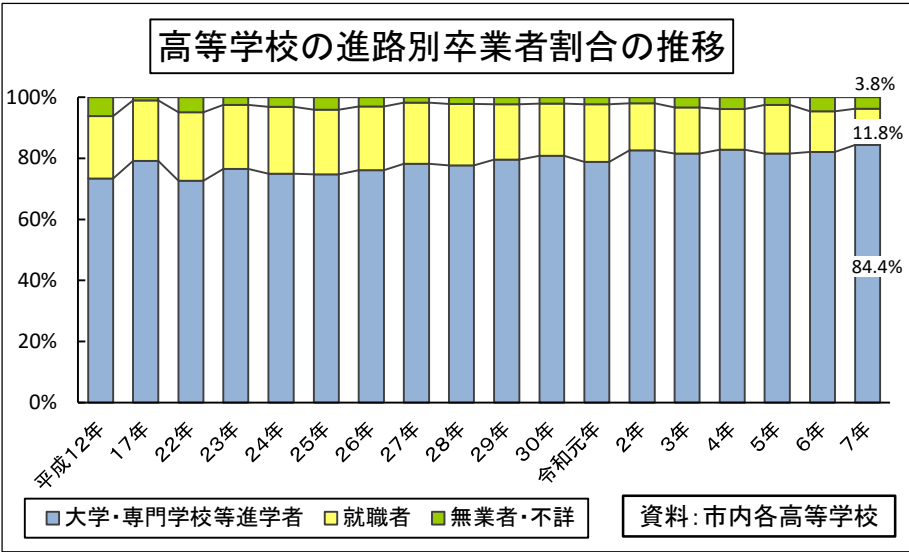
	施設数	学級数	児童・生徒数(人)	教員数(人)
幼稚園	1 (2)	13	271	37
幼保連携型認定こども園	1	9	227	25
小学校	9	149	3,543	247
中学校	3 (4)	66 (78)	1,788 (2,121)	122 (147)
高等学校	3	—	2,273	170

* 幼稚園の()内は、休園中の園を含む数値
* 中学校の()内は、組合立を含む数値
(令和6年度学校基本調査)

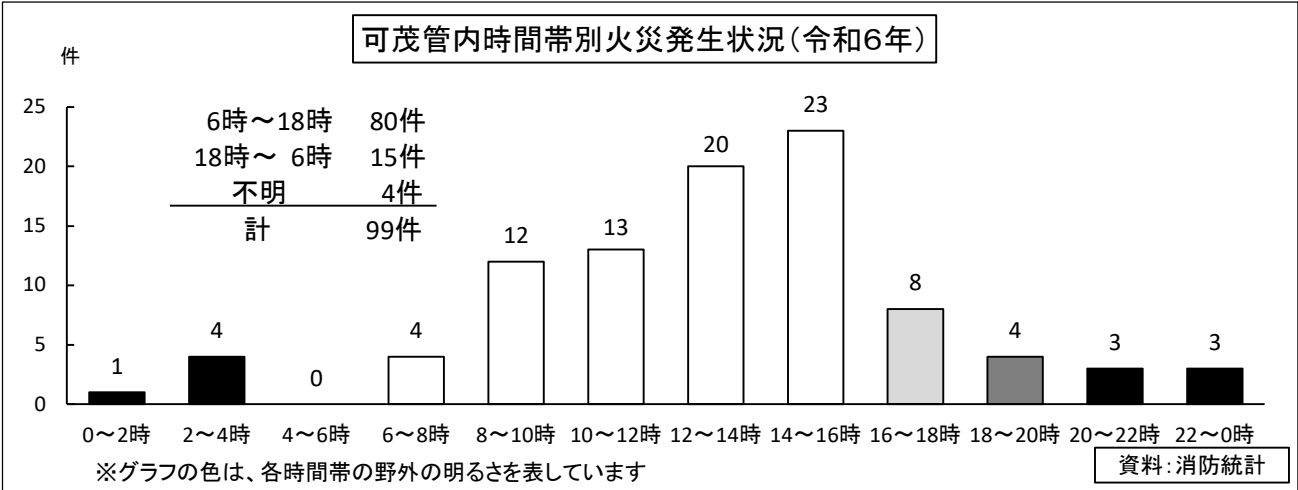
○大学・専門学校等進学率 (%)

可茂地域	73.9
岐阜県	78.8

(令和6年度学校基本調査)



防 災



令和7年中の可茂管内の火災発生件数は99件で、比較的昼の明るい時間帯に多く発生しました。
令和7年中の市内の火災発生件数は23件で、救急出場件数は2,803件でした。

交通

○公共交通

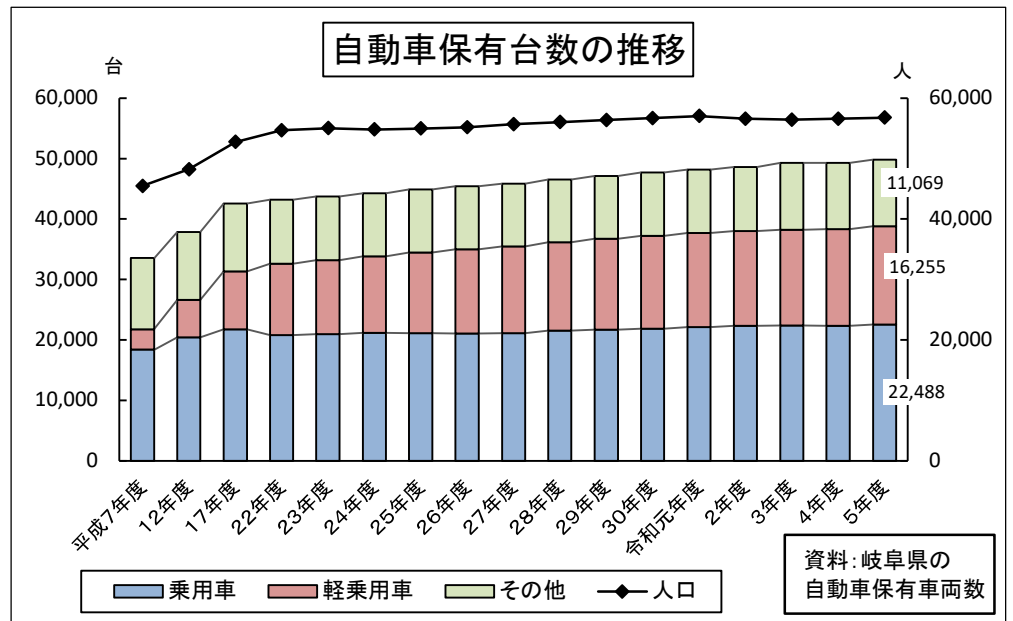
JR高山本線(美濃太田駅、古井駅)
JR太多線(美濃太田駅、美濃川合駅)
長良川鉄道(美濃太田駅、前平公園駅、加茂野駅)
あい愛バス
東海環状自動車道(美濃加茂IC)
国道21、41、248、418号

○自動車1台当たりの人口

(人)

美濃加茂市	1.14
岐阜県	1.13
21市	1.15

(令和5年度末)

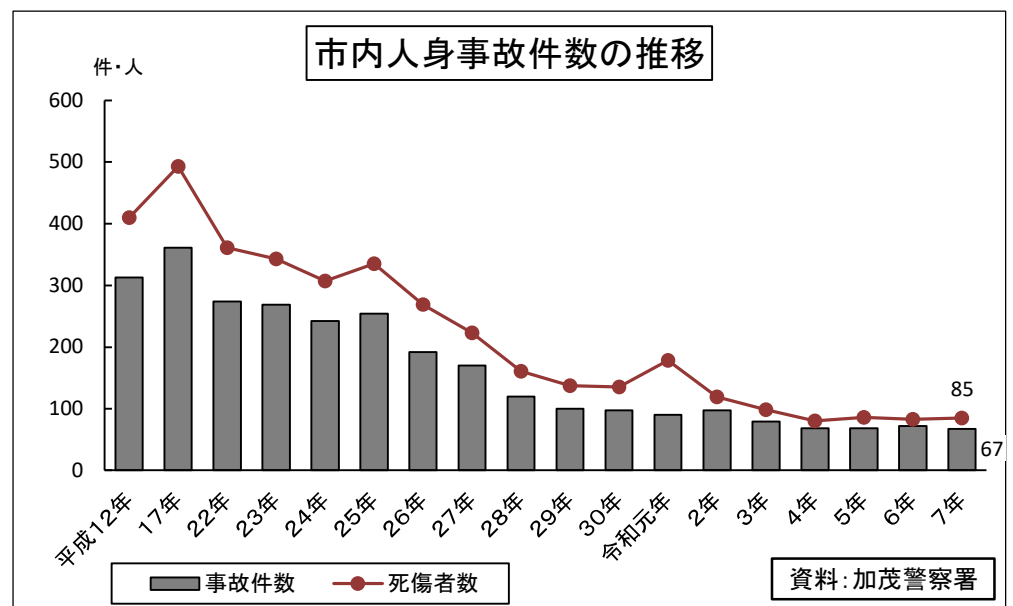
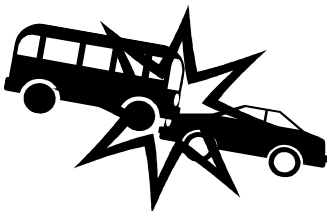


○人口1,000人当たりの交通事故死傷者数

(人)

美濃加茂市	1.46
岐阜県	1.82
21市	1.84

(令和6年)



事故件数は平成25年より年々減少傾向にあります。

市内交通事故多発箇所(令和7年)



ワースト	発生場所	合計	発生件数		昨年比
			人身事故	物損事故	
1	美濃加茂市山手町2丁目 太田町交差点	25	1	24	+1
2	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 矢田交差点	23	3	20	...
3	美濃加茂市御門町2丁目 新太田橋交差点	20	1	19	...

※交通事故多発箇所は、発生件数がおおむね20件より多い場所を記載。(加茂警察署調べ)

文化・観光等

○文 化

図書館蔵書数 …………… 中央 145,966 冊 (令和7年度)
東 106,070 冊
北部分室 2,643 冊

図書貸出冊数 …………… 中央 97,993 冊 (令和6年度)
東 128,559 冊
北部分室 964 冊

文化の森来館者数 …………… 65,247 人 (令和6年度)
文化会館利用者数 …………… 68,778 人
プラザちゅうたい利用者数 …………… 82,514 人
生涯学習センター利用者数 …………… 90,443 人

指定文化財 (R7年3月31日現在)

	国	県	市
件 数	4	9	38

○観 光

主要観光地入場者数 …………… 1,295 千人 (令和7年)
ぎふ清流里山公園 …………… 859 千人
小山観音 …………… 52 千人
中山道太田宿 …………… 36 千人
太田宿中山道会館 …………… 72 千人
みのかも健康の森 …………… 71 千人

主な行事 (令和6年)
おん祭MINOKAMO市民花火大会
おん祭MINOKAMO太田宿中山道まつり
みのかも市民まつり

○お国自慢

堂上蜂屋柿「食の世界遺産認定」「本場の本物認定」「地理的表示保護制度(GI)登録」
メタセコイアの珪化木(約2100万年前、スギ科の針葉樹が化石化)
旧太田脇本陣林家住宅(国指定文化財)
ネコギギ(国の天然記念物)
三和のゲンジボタル、梨、じねんじょ

インフラ

○建 設

(令和7年4月1日現在)
市道実延長 …………… 743.0km
都市計画用途地域面積 …………… 869.0ha
都市公園面積 …………… 52.7ha
市営住宅戸数 …………… 257戸

○電気・水道

(令和6年度)
使用電力量 …………… 446,307千kWh
上水道給水人口 …………… 57,056人
下水道普及率(公共・特環・農集含む) …………… 95.5%
水洗化率 …………… 89.8%

行政経営の状況

○職員数・議員数

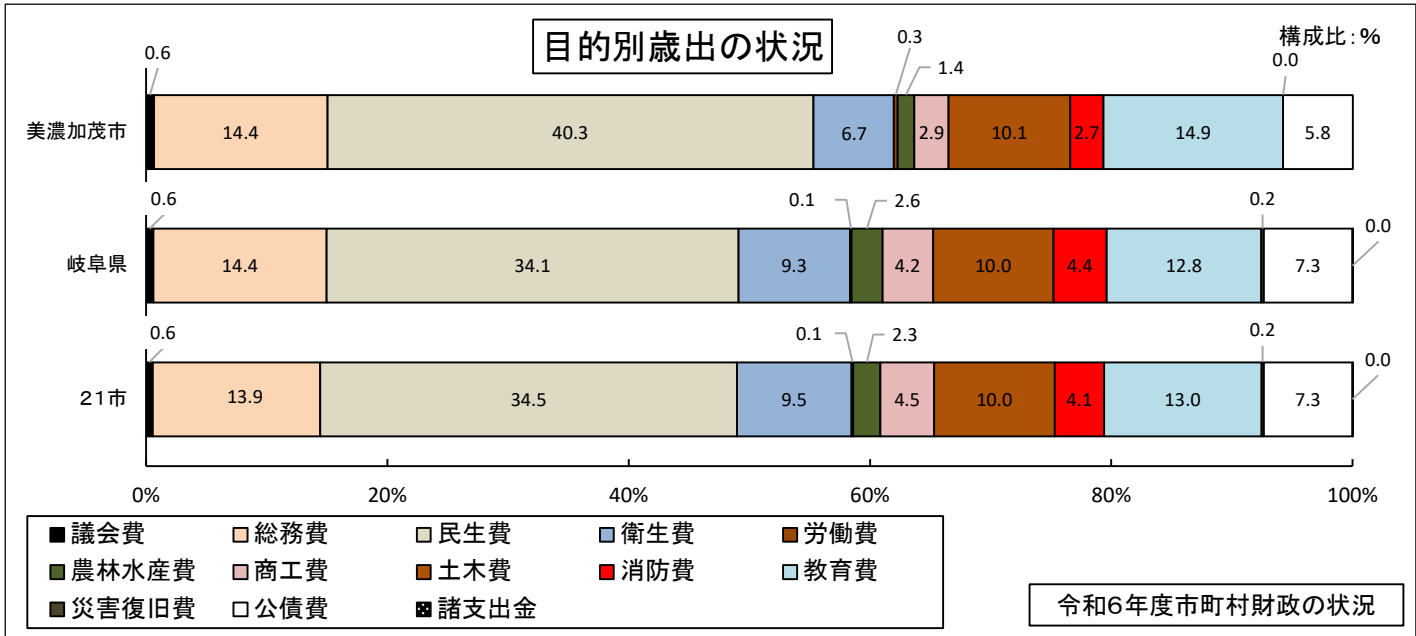
市職員数	371 人	(令和7年4月1日現在)
市議会議員数	15 人	(令和8年1月1日現在)

○財 政

令和6年度決算額

一般会計歳入	266億	1,612 万円
うち市税	92億	3,013 万円
地方交付税	30億	3,649 万円
国・県支出金	66億	5,095 万円
市債	12億	0310 万円
その他	64億	9,544 万円
一般会計歳出	251億	0846 万円
特別会計歳入	98億	3,237 万円
特別会計歳出	96億	6,074 万円

財政力指数(3か年平均)	0.760	(令和6年度)
--------------	-------	---------



令和7年度予算額

一般会計歳入・歳出	263億	7,000 万円
うち市税	94億	1,124 万円
地方交付税	29億	8,000 万円
国・県支出金	66億	9,743 万円
市債	12億	990 万円
その他	60億	7,143 万円
特別会計歳入・歳出	106億	9,904 万円

市民憲章

(昭和53年4月1日)

私たちは、豊かな水と緑の恵みをうけ、木曾の流れのようにひらけゆく未来をもつ、美濃加茂の市民です。
私たちはこのまちを愛し、たがいのしあわせを願い、ひとりひとりの誓いをこめて、この憲章を定めます。

- 1 健康で働き、心のかよう家庭をつくれます。
- 1 きまりを守り、いたわりあい、助け合って住みよいまちをつくれます。
- 1 自然をいかし、環境をととのえ、くらしのゆたかなまちをつくれます。
- 1 夢をもち、正しく強く生きる青少年の育つまちをつくれます。
- 1 教養を深め、文化の香り高いまちをつくれます。

都市宣言

- 交通安全都市宣言 (昭和40年5月8日)
産業経済の急速な伸長に伴い、陸運交通量は著しく増加複雑化し、交通事故の激増ぶりは真に憂慮すべきものがあり、その事故発生は市民の大きな不安となっている。このため市民の総意を決集して、交通事故の絶滅を期するために交通安全都市を宣言する。
- 青少年愛護非行防止都市宣言 (昭和41年5月9日)
社会環境を浄化し、青少年愛護の施策を強め、市民の皆さんのご協力をいただき、その力を結集することを期して青少年愛護非行防止都市を宣言する。
- 明るく正しい選挙を推進する都市宣言 (昭和42年3月25日)
われわれは、公職選挙法に従って誠実に行動し、選挙を前向き姿勢にして、買収・供応・デマなどの事前運動を根絶するため明るく正しい選挙を推進する都市を宣言する。
- 暴力追放都市宣言 (昭和46年7月20日)
明るく平和なまちづくりには暴力の追放が最も緊要である。われわれは、警察をはじめ関係機関、団体との連携を緊密にして「明るく住みよい美濃加茂市」を建設し、暴力の絶滅をするため暴力追放都市を宣言する。
- 平和都市・健康都市宣言 (平成元年3月25日)
平和を希求する都市
私たちすべての市民は、全人類共通の願いである核兵器廃絶が一日も早く実現され、戦争のない恒久平和が達成されることを心から希求する。
この願いを込めて、世界のすべての人々との交流をすすめ、相互理解を深め、世界の平和を訴えるものである。
- 健康を願う都市
心と体の健康は、幸せな生活の基本であり、人類共通の願いである。
私たちすべての市民は、健康で幸せな生活が保障されることを願い、不断の努力を重ね、広く理解を訴えるものである。
- 姉妹都市提携宣言 (平成元年6月2日)
オーストラリア・ダボ市

Walkable City Minakama

2025年美濃加茂市10大ニュース



第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定 戦略の柱は「教育」！（4月）

市民にとって「住みやすく 住み続けたい魅力あるまち」であるとともに、市外から「住んでみたいまち」と認識されるまちを目指し、「家庭教育」、「幼児教育」、「学校教育」、「社会教育」など、さまざまな分野の教育に、子育て支援に関する政策も含め、「広義の教育」として注力することを定めた『第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定しました。

この戦略をもとに、美濃加茂市ならではの環境を生かしながら、子どもたちの感性を磨く取り組みを実施していきます。



AI デマンドバス「チョイソコみのかも」 実証運行をスタート（7月）

7月1日④から12月26日⑤の間、AI デマンドバス「チョイソコみのかも」の実証運行を実施しました。

「チョイソコみのかも」は、利用者からの予約を電話やインターネットで受け付け、AI 技術を活用して、最適な乗り合わせやルートを自動計算し、停留所間を送迎する利便性の高い乗り合い送迎サービスです。コミュニティバスである「あい愛バス」の乗り継ぎや目的地までの時間を要するという課題を解決し、お出かけを促進する公共交通としての取り組みで、期間中、多くの方にご利用いただき、利便性を実感いただきました。





市 LINE 公式アカウント 友だち登録者数 2 万人達成！ スマホ市役所の機能を拡充し、より便利に（8 月）

市 LINE 公式アカウントの登録者数が 2 万人を突破しました。これまで、防災や生活情報の配信、ごみ出し検索やオンライン申請など、市民の皆さんに便利と安心を届けてきました。今年度からは本人確認やオンライン決済もスタートしています。

11 月には、一部窓口で各種証明書の交付手数料の支払方法として、従来の現金に加え、キャッシュレス決済を導入。これにより、市民の決済手段の多様化に対応するとともに、窓口での現金処理を減らし、利用者の利便性向上や窓口業務の効率化を推進しています。



災害時相互応援やトイレカーの配備、消防団の想定訓練 一丸となって来たる災害に備える（9 月～11 月）

災害時相互応援に関する協定を埼玉県本庄市、和歌山県由良町と締結しました。

9 月には 10 人乗りの多目的防災車（トイレカー）を導入。平常時は公用車として使用し、有事の際はトイレ、救護室、被災地での活動拠点とするなど多目的な用途で使用を予定しています。

11 月に市消防団は、近年世界各地で頻発している大規模火災に備え、山林での火災を想定した訓練を、可茂消防事務組合および岐阜県中濃生コンクリート協同組合の協力を得て、みのかも健康の森で行いました。

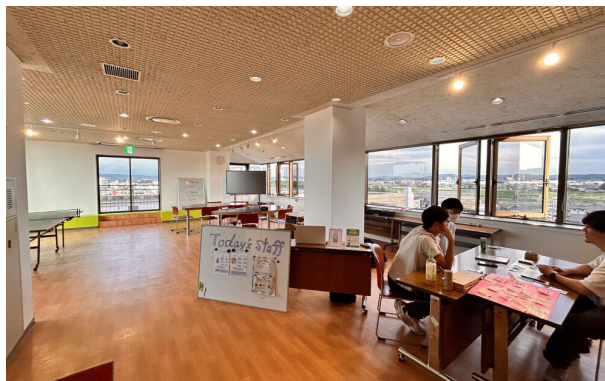


美濃加茂ユースセンターがオープン！ 若者の新たな居場所が誕生しました（10 月）

10 月 2 日（木）、生涯学習センター 6 階に美濃加茂市若者活動支援事業として「美濃加茂ユースセンター」がオープンしました。

同センターは、中高生から 20 代までの若者を対象に、誰でも安心して過ごすことができる「居場所」を毎週（木）に開設しています。すでに多くの中高生が集まり、勉強や遊び、コミュニケーションの場など、それぞれ思い思いに利用し、賑わいをみせています。

この場所を拠点として、地域で活躍する人材の育成を最終目的とした事業を展開していきます。





スポーツと憩い、防災の顔を持つ 友進リバーサイドフィールドがオープン（7月）

7月8日㊤に牧野緑ヶ丘に友進リバーサイドフィールド（牧野ふれあい広場）がリニューアルオープンし、11月にはオープニングイベントを開催しました。

同施設には、市内初となる400mトラックを備えた陸上競技場や多目的広場やアーチェリー場、芝生広場などスポーツの場があり、憩いの場としても利用することができます。

また、大規模災害時には、自衛隊や救援隊などの受け入れや救援物資などの集積地として地域防災拠点の役割を持つ広場となっています。

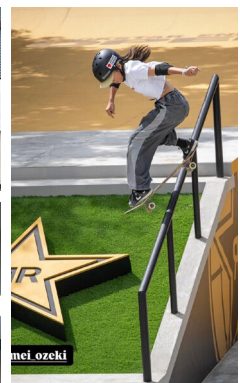


若い世代がスポーツにおいて活躍（7月～9月）

井戸アビゲイル風果さん（西中出身）が、女子200mで日本記録を樹立し、東京2025世界陸上競技選手権大会でも日本代表として大活躍しました。

また、美濃加茂ジュニア陸上クラブが、第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の女子4×100mリレーにおいて、48.19秒の記録で見事優勝しました。

スケートボードの尾関萌衣さん（東中1年）は、「日本オープン・ストリート」で銀メダル、アメリカ（オレゴン州）で開催された大会でも銅メダルを獲得するなど、スポーツにおいて若い世代が躍動しました。



「通学时緊急暑さ対策パッケージ」を実施 小学生と見守りを行う市民が酷暑を乗り切る（8月）

夏の激しい暑さが増す中、児童が安心して学校に通う環境を整えるため、3つの対策を盛り込んだ「児童の通学时緊急暑さ対策パッケージ」を展開しました。

各小学校に計128台の冷凍庫を設置し、下校時に冷えたネッククーラーなどを使える環境を整備。また、市内の事業者に協力いただき、通学時に暑さを避けて一時避難できる施設「こども登下校ひんやりスポット」を全30箇所に設置しました。さらに、児童の通学時に見守りをいただいているスクールサポーターなどに暑さ対策に冷感タオルを計500枚配付しました。





おん祭 MINOKAMO 市民花火大会が初の 10 月開催 秋の夜空に美しい花火が打ち上がる（10 月）

近年の 40 度に迫る夏場の猛暑の影響を考慮し、花火を観覧する人や運営スタッフの健康と安全を第一に考えて、おん祭 MINOKAMO 市民花火大会が木曽川緑地ライン公園で初めて 10 月に開催されました。

昨年は 9 月に計画していましたが、雨による木曽川の増水の影響で中止となったため、今年は 2 年ぶりの開催となりました。

会場には花火を待ちわびた約 4 万 3 千人が来場し、心地良い秋風が吹く中、夜空に咲く大輪の花を楽しみ、大いに賑わいました。



美濃加茂市役所新庁舎の候補地決定 美濃加茂市役所の位置を定める条例が可決（12 月）

令和 7 年第 1 回定例会において市役所の位置を定める条例の一部改正案が否決されました。

否決後、無作為抽出した市民 8,000 人を対象とした市民アンケートを実施し、約 6 割の賛成を踏まえ、新庁舎の整備地を現在の「プラザちゅうたい」の位置とする市の方針を改めて決定しました。

第 4 回定例会において改めて市役所の位置を定める条例の一部改正案を上程し、可決されました。

可決を受け、令和 8 年度より新庁舎整備基本計画の策定を推進していきます。

